

付着生物ラーバ情報

1 ラーバ等の出現状況

直近のラーバ等の出現数は表1のとおりです。

(1) ユウレイボヤ(通称: ハナ)

ラーバは見られていません(図2)。

(2) キヌマトイガイ(通称: コメガキ)

ラーバは久栗坂沖で647.2個体/m³、川内沖で743.8個体/m³見られました(図3)。

(3) ムラサキイガイ

ラーバは久栗坂沖で49.4個体/m³、川内沖で53.1個体/m³見られました(図4)。

(4) オベリア類(クラゲの仲間、通称クサ)

クラゲは見られていません(図5)。

(5) アミクサ(海藻、通称クサ)

小枝は見られていません(図6)。

2 今後の見込み

現在、陸奥湾の中層水温が2~8℃台に低下しています。

ユウレイボヤのラーバは今回も見られておらず、最も多い奥内沖でも累積ラーバ数は5.0個体/m³と少ないことから、**今春の出荷時には大型個体の付着は少ない**と思われます。

キヌマトイガイは、ラーバ出現数が増加してきたことから、**籠や耳吊り、マボヤ採苗器へ付着が増加**すると思われます。

ムラサキイガイは、ラーバ出現数が減少しましたが、**4~6月にかけて再び増加**すると思われます。

アミクサ小枝とオベリア類のクラゲは3月まで出現する可能性があります。

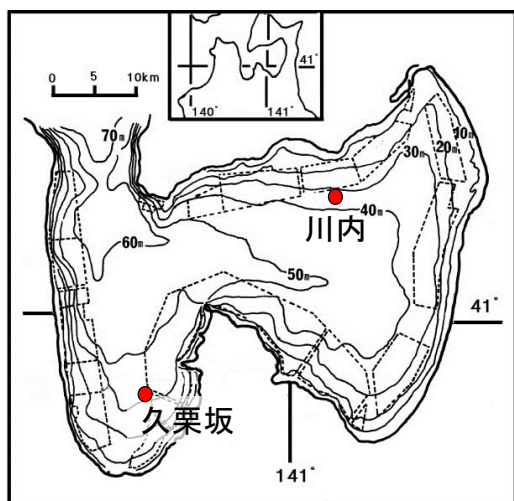


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	サラボヤ	キヌマトイガイ	ムラサキイガイ	単位: 個体/m ³	
						オベリア類 クラゲ	アミクサ 小枝
久栗坂沖	H31.2.20	0.0	0.0	647.2	49.4	0.0	0.6
川内沖	H31.2.20	0.0	0.0	743.8	53.1	0.0	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

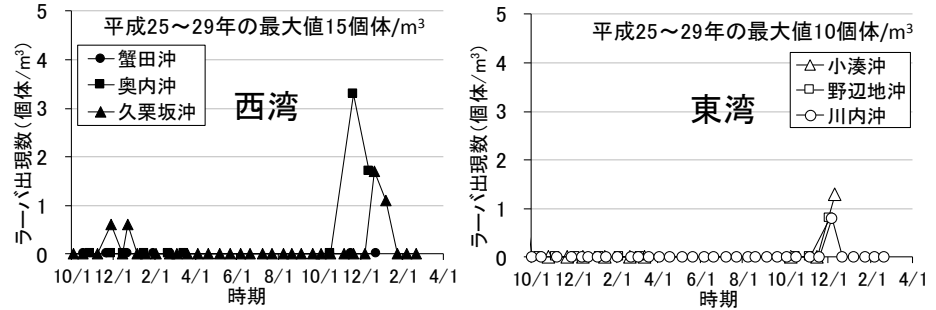


図2 ユウレイボヤ出現数の推移(平成29年10月~平成31年2月)

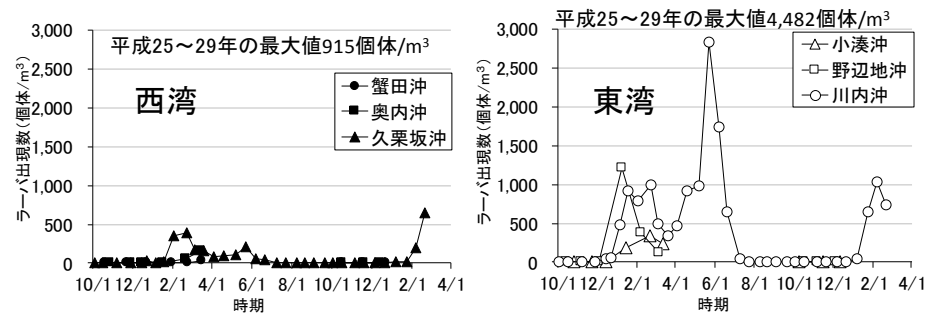


図3 キヌマトイガイ出現数の推移(平成29年10月~平成31年2月)

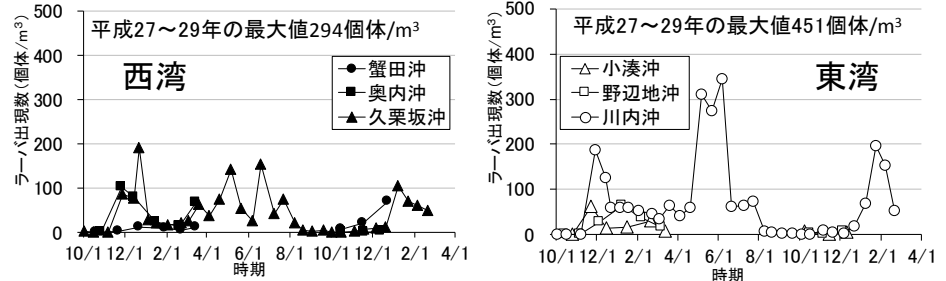


図4 ムラサキイガイ出現数の推移(平成29年10月~平成31年2月)

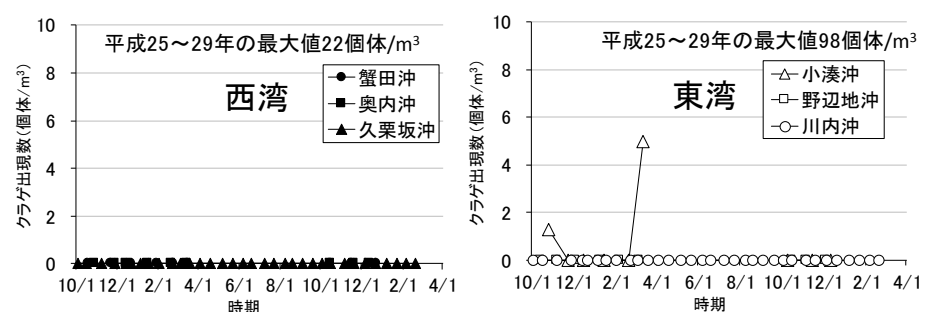


図5 オベリア類クラゲ出現数の推移(平成29年10月~平成31年2月)

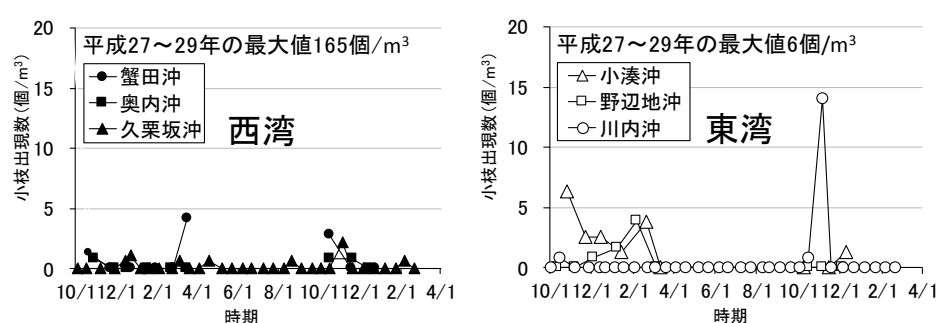


図6 アミクサ小枝出現数の推移(平成29年10月~平成31年2月)

